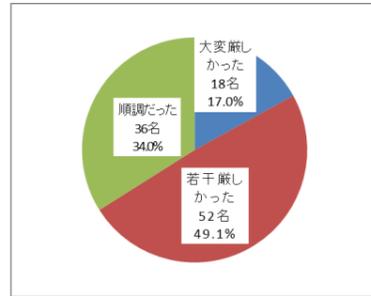


当協会では、2012年より、主催する「新入社員講習会」の参加者を対象に「新入社員意識調査」を実施しており、今回は参加者106名(26社より男性80名、女性26名)全員から回答を得た。(調査日：2015年4月2日)

就職活動を振り返って「大変厳しかった」という回答の割合が3年連続で減少し、就職した企業が「希望どおり」であったという割合が増加している。また、情報収集源として「携帯・スマホサイト」が初めて1位となった。

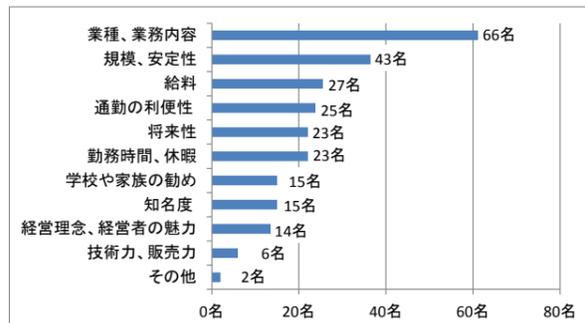
問1. 就職活動を振り返って

「大変厳しかった」(18名・17.0%)と「若干厳しかった」(52名・49.1%)を合わせると70名(66.1%)で、約7割を占めた。一方で、36名(34.0%)が「順調だった」と回答している。「大変厳しかった」は初めて20%を割り込み、「順調だった」は調査開始以来最高値。



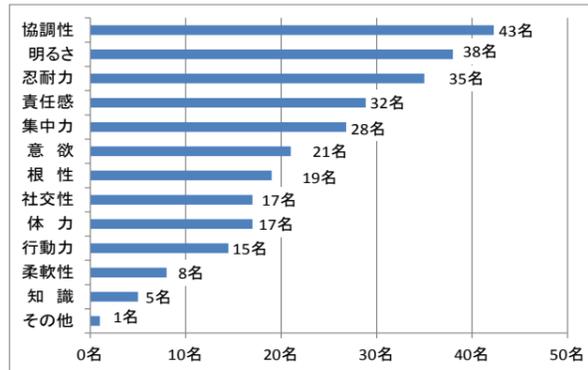
問2. 就職先を選ぶ際に重視した点は?(3つまで選択可)

「業種・業務内容」が66名と最も多かった。以下やや差があって「規模・安定性」(43名)、「給料」(27名)、「通勤の利便性」(25名)、「将来性」(23名)、「勤務時間・休暇」(23名)、「学校や家族の勧め」(15名)、「知名度」(15名)、「経営理念・経営者の魅力」(14名)、「技術力・販売力」(6名)、「その他」(2名)等が続いている。



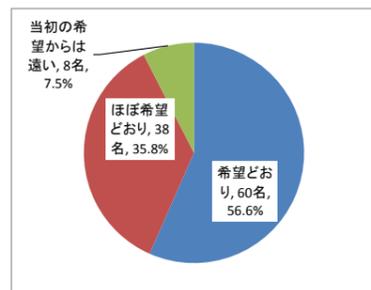
問3. 社会人としての自身のセールスポイントは?(3つまで選択可)

「協調性」(43名)、「明るさ」(38名)、「忍耐力」(35名)、「責任感」(32名)の4項目が30名を超えた。次に「集中力」(28名)、「意欲」(21名)等が続いている。



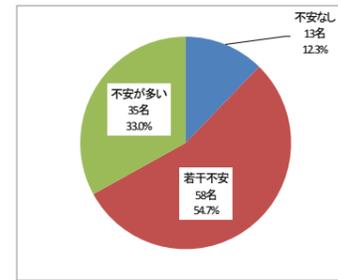
問4. 就職した企業は?

「希望どおり」(60名・56.6%)と「ほぼ希望どおり」(38名・35.8%)の両者を合わせると98名(92.4%)で、約9割を占めた。「当初の希望からは遠い」は8名(7.5%)であった。「希望どおり」は初めて50%を超えた。



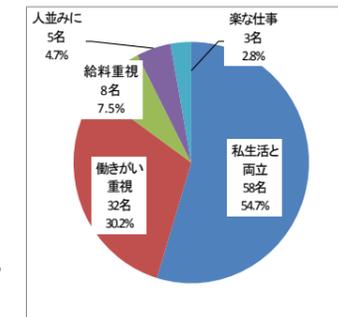
問5. これからの職場生活に対して

入社式直後のほとんど実務に入っていない時点での調査であり、「若干不安がある」(58名、54.7%)と「不安が多い」35名(33.0%)を合わせると93名(87.7%)で、約9割を占めた。「不安はない」は13名(12.3%)であった。



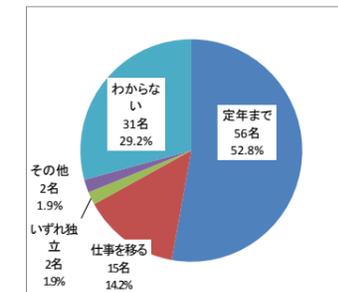
問6. 「働く」ことについて自分の考えに最も近いのは?

「仕事も大事だが家庭や私生活も大切にしたい」とする人が58名(54.7%)と約5割を占めた。「働きがいがあれば仕事の苦勞をいとわない」が32名(30.2%、30%超は初)でこれに続いている。



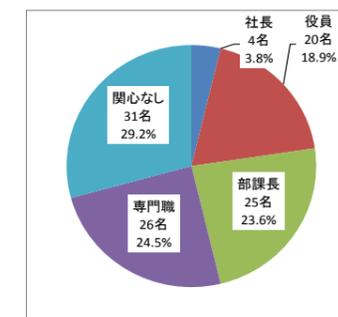
問7. 今の就職先でいつまで働こうと思いますか?

「定年まで働きたい」が56名(52.8%)で最も多かった。次が「わからない」で31名(29.2%)、3番目が「将来は別の仕事に移るかもしれない」で15名(14.2%)と続いている。



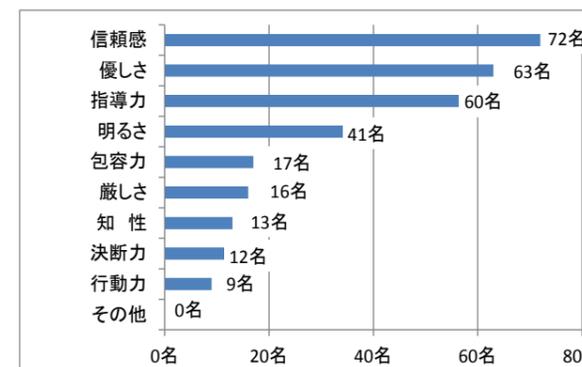
問8. 自身の昇進について、どこまで目指しますか?

「昇進にはあまり関心がない」が31名(29.2%)で最も多く、以下「専門職」26名(24.5%)、「部課長クラス」25名(23.6%)、「役員クラス」20名(18.9%)と続いている。「社長」は3年連続減少の4名(3.8%)で最も少なかった。



問9. 上司に求めるものは?(3つまで選択可)

「信頼感」が72名で最も多く、次が「優しさ」で63名、「指導力」(60名)、「明るさ」(41名)の4項目が特に多かった。次に「包容力」(17名)、「厳しさ」(16名)等が続いている。

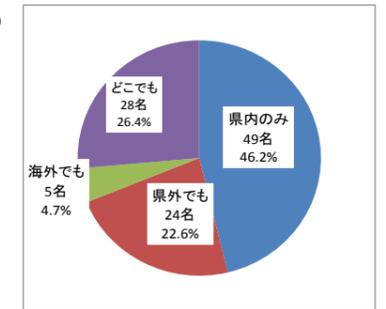


問10. 理想の上司は有名人にたとえると誰ですか?

記名のあった回答者74名より有名人45名の名前が挙がった。最も多いのが「明石家さんま」で8名、次が「松岡修三」6名、「マツコデラックス(初登場)」5名、「タモリ」4名、次が3名づつで「イチロー」、「EXILE HIRO」、2名が「天海祐希」「本田宗一郎」「内村光良」「松本人志」「北野武」「小栗旬」であった。2年連続で1位だった「タモリ」は「明石家さんま」にその座を空け渡した。

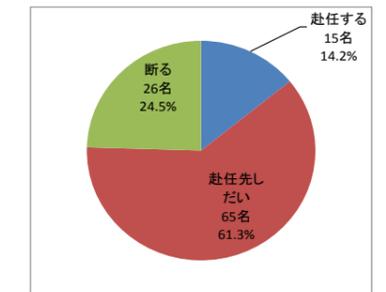
問11. 働く場所について自分の考えに最も近いのは?

「富山県内でずっと働きたい」が49名(46.2%)で最も多かった。「働く場所にはこだわらない」が28名(26.4%)で続き、「富山県内だけでなく県外でも仕事をしてみたい」が24名(22.6%)、「機会があれば海外でも仕事をしてみたい」は5名(4.7%、調査開始以来最低)と最も少なかった。



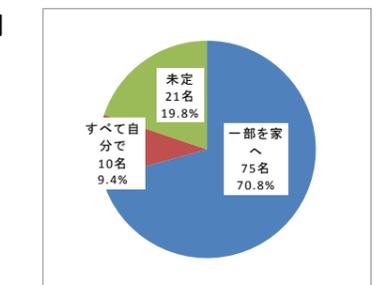
問12. 将来、あなたに海外転勤の打診があったら?

「国・地域しだいで検討する」が65名(61.3%)で最も多かった。「断る」が26名(24.5%)で、「国・地域を問わず赴任する」は15名(14.2%)であった。



問13. 給料の一部を毎月「家への入金(同居の家計費や親元への仕送り)」に充てますか?

「給料の一部を家へ入金」が75名(70.8%)で最も多かった。「未定」が21名(19.8%)で続き、「すべて自分で使う」は10名(9.4%)で最も少なかった。



問14. 最初の給料で家族にプレゼントをしますか?

「プレゼントすることを考えている」が77名(72.6%、70%超は初)で、「特に予定はない」の29名(27.4%)を大きく上回った。

問15. 日常的な情報収集メディアは?(3つまで選択可)

「携帯・スマホサイト」が91名で、初めて「テレビ」と並んで最も多かった。次いで「PCインターネット」の58名が続いており、「新聞」は28名とやや少なかった。

